

| | |
|-------|----------------|
| 施設名 | ばる★キッズ足立 |
| 施設所在地 | 足立区中央本町4-3-23 |
| 法人名 | 生活協同組合パルシステム東京 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

土の中にはどんな生き物がいるかな？虫を探そう！

<テーマの設定理由>

散歩先の公園でダンゴ虫やミミズを探す子どもたち。すくわくプログラムで自然や虫をテーマにしてから公園で虫探しをする姿が増え

図鑑で昆虫の種類を調べたり、昆虫の絵を描く姿も見られるようになった。その中で子どもたちから図鑑を見て「山にいる虫はどんな虫がいるのかな？」「公園にいる虫より大きいのかな？」などの話があり、山の畑から土を運んでもらい、身近な園庭でも虫探しができる環境を整えたく設定する。

2. 活動スケジュール

- ◆虫の採集・観察
- ◆土や砂場玩具を使って、虫たちのおうち作り（見立てあそび）
- ◆土あそび（見立てあそび）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ◆自然を身近に感じられるよう山から腐葉土を選び、生き物が住みやすい環境に設定
- ◆山の土
- ◆山の虫
- ◆砂場玩具（スコップやバケツなど）
- ◆砂場玩具が使いやすいように収納ワゴンで環境設定

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ◆山の生き物調査（採集・観察・図鑑を使って調べる）
- ◆園庭、砂場の生き物探し（発見・観察・ふれあいなど）
- ◆保育者、他クラスへ共有

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

シャベルで畑の土を掘っていると、知っているダンゴ虫やミミズを発見。「公園にいる生き物より大きいぞ！」と友だちに共有する。「みんなでもっと探そう！」と探検隊ごっこがスタートする。続いて、「これ、なんだー？」、「先生！みてー！」と初めて見る幼虫を発見。「図鑑で調べてみよう」と見虫図鑑を取りに行く子どもたち。虫好きの子どもたちが集まり「この幼虫はどこにいたの？」と一緒に遊んでいた子が質問し、「もっとみんなで探そう！」と更なる新しい虫に出会うため、畑の虫探しは続く。



▲山から来た土に虫、いる？ ▲公園のより大きいみみず！ ▲動いている様子に興味深々▲土が手の中で固まる感触を味わう

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ◆園庭の畑にたくさん虫がいることに気づく。
- ◆虫たちとのふれあい方を知り、思いやりを持って接することができている。
- ◆虫好きの友だちの姿を見て、虫に触れることへの抵抗が減り、クラスみんなで楽しめるようになった。
- ◆【虫】という1つの共通点が異年齢との関わりを繋げ、さらに発展している。
- ◆虫探しの際に見つけられない子に対して、一緒に探してあげたり、見つけた場所を教えてあげたり、思いやりの心が芽生えるようになった。
- ◆環境設定の一つである人数分準備することで、一人ひとりが満足して遊べることの大切さを再確認した